

平成 28 年 1 月 5 日  
千葉木鶏クラブ  
(367 回 例会)

## 孔子と『論語』(第 13 回)

新年あけましておめでとうございます。  
今年も、木鶏信条である「徳性を養い、人格を高めるため」共に学びあいたいと思います。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。  
皆様のお越しをお待ちしています。

### 記

1. 日 時 : 平成 28 年 1 月 23 日 (土)  
PM 16 時 00 分 ~ 18 時 00 分
2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811  
<交通案内> JR 千葉駅東口から 徒歩 8 分 駐車場有り
3. 会 費 : 1000 円
4. 演 題 : 孔子と『論語』 「安岡正篤」講和選集より  
講話内容 : 「行政」と「民衆」
  1. 『論語』先進第十一  
・ 行政の現実には難しい。  
・ 夫(か)の佞者(ねいしゃ)悪(にく)む。
  2. 『論語』泰伯第八  
・ 由らしむべし、知らしむべからず。

### 5. その他

#### <天風会からのご案内>

テーマ: 「強くしなやかな心を創る」 心身統一法概論  
日 時: 1 月 24 日 (日) 13:30 ~ 14:50  
場 所: 千葉市文化センター (TEL 043-224-8211)  
講 師: 池田忠一 (公益財団法人天風会・前専務理事)  
料 金: 無料

以上

[千葉木鶏クラブ](http://www.marushimokurabu.or.jp) 代表兼事務局 丸島 忠夫

[Email: marushima\\_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp) [Tel: 0475-25-1211](tel:0475-25-1211) [Fax: 0475-38-5153](tel:0475-38-5153)

## 第 13 回 「行政」と「民衆」

「安岡正篤」講和選集より『孔子と論語』

### 1. 『論語』先進第十一 <行政の現実には難しい>

子路。子羔（しこう）をして、費（ひ）の宰（さい）たらしむ。

子曰（のたま）わく、夫（か）の子（こ）を賊（そこな）わん。

子路曰（いわく）、民人（みんじん）有り、社稷（しゃしよく）有り、何ぞ必ずしも書（しょ）を読み、然（しか）る後（のち）学（がく）と為（な）さんと。

子（し）曰（のたま）わく、是（こ）故（ゆえ）に夫（か）の佞者（ねいしや）悪（にく）む。

< 補足 >

子路が、子羔（しこう）を費（ひ）の町の代官にさせた。

先師が言われた。

「そんなことをしたらかえってあの青年をそこなうことになるろう」

子路は、それに反発して、「費（ひ）には治むべき人民があり、祭るべき社稷があります。

どうして机の上で書を読むだけが学問でありましょうか」と言った。

先師が言われた。

「これだから、私は口達者な人をにくむのだ」

・子羔（しこう）：性は高、名は柴（さい）、字（あざな）は子羔（しこう）  
孔子より 30 歳若い。

・費（ ）の重鎮であった季氏の所領の地名。

・社稷：社は土地の神様、稷は五穀の神様。転じて社会、国家。

### 2. 『論語』泰伯第八 <由らしむべし、知らしむべからず>

子曰く、民は之に由らしむべし。之を知らしむべからず

< 補足 >

民は徳によって信頼させることはできるが、全ての民に真実を知らせることは難しい。

・民衆と指導者 オルテガ（スペインの哲学者）の卓論